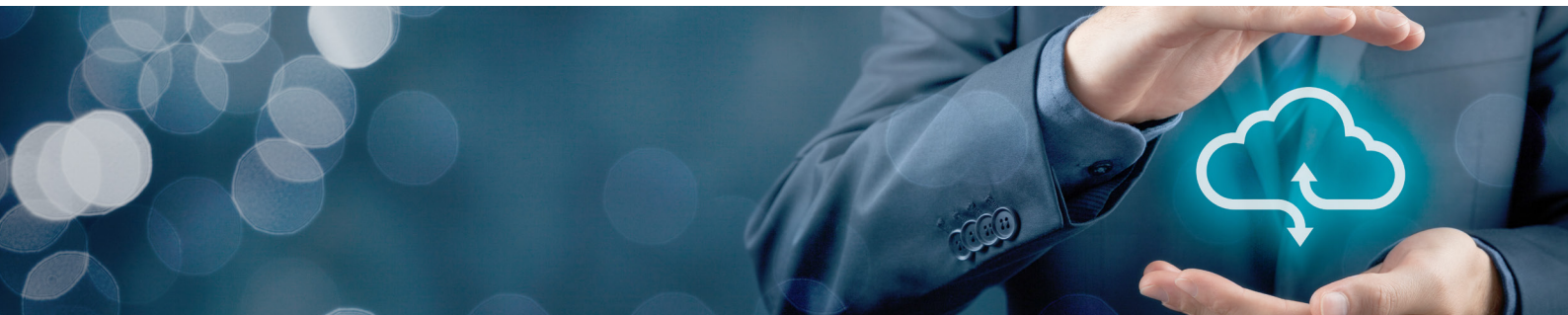


> Arcserveの従量制課金モデルで バックアップサービス提供の リードタイムを約1/5に短縮

クラウドを支えるバックアップはやはりArcserve UDP



ユーザープロフィール

業 種: ITサービス業
会社名: 株式会社クレオ

 株式会社クレオ

課 題

クレオは、企業や組織のIT部門向けに、社内システム運用の効率化をトータルで支援するITサービスプロバイダだ。同社では、リソースプール型プライベートIaaS「SmartStage N-CLOUD」で提供するバックアップサービスとして、自社開発プログラムを含め5種類のバックアップソフトを使っていた。

経 緯

しかし、運用が進むにつれてさまざまな弊害が顕著になってきた。バックアップファイルの肥大化により多世代データが取得できない、バックアップ時間が増大する、運用現場の負荷が高い、ライセンスおよび保守管理が複雑化する、などがそれらだ。リスクの増加に危機感を感じた同社はバックアップソフトの統合を決断した。

導 入

技術者視点で重視されたのは、定期的なフルバックアップが不要なことによるスピードアップやエージェントなしに仮想マシンがバックアップできることだった。一方、マネジメント視点で求められたのはライセンスおよび保守管理が簡素化できる従量制課金ライセンス。両者の要望を総合してたどり着いた答えがArcserve UDP。

効 果

導入の結果、バックアップファイルサイズは約60%減少、同社の顧客がサービスを申し込んでからサービスが開始するまでのリードタイムは従来の約1/5に短縮した。サービスコストという観点でも、ライセンスおよび保守料だけで約1/2以下に。簡素化された手順により迅速、より信頼性の高いバックアップ/リストアが行えることで、現場の負荷が軽減するとともに顧客へのサービスレベルが向上した。



5種類のバックアップソフト併存で生じていた数々の弊害

株式会社クレオは、企業や組織のIT部門に向けて社内システム運用の効率化をトータルに支援するITサービスプロバイダである。大きく3つのサービスがあり、SaaSとして提供するITサービス管理ツール「SmartStage サービスデスク」、仮想サーバを提供するリソースプール型プライベートIaaS「SmartStage N-CLOUD」、システムインフラの運用を担う「SmartStage IT Outsourcing」がそれらだ。

このうち、「SmartStage N-CLOUD」では、メニューの一つとしてバックアップサービスを提供している。ユーザーが誤削除したファイルの復旧やアプリケーション更新前のシステムバックアップ、監査証拠としての長期間のデータ保存などのニーズに応えるため、クラウドでもオンプレミス同様にバックアップを行う必要があるからだ。

同社はこれまで、サービスに適用するバックアップソフトウェアについて、自社開発プログラムを含め適材適所の方針を取ってきた。その結果、最終的には5種類の仕組みが併存、徐々にその弊害が表れるようになってきたという。

まずは、バックアップファイルの肥大化だ。あるバックアップソフトウェアは定期的にフルバックアップが必須であったため、動画などが保存されているファイルサーバがバックアップ対象だとたちまち容量が膨れ上がり、契約リソースでは多くの世代データを取得できないという事態が生じるようになった。

また、データ容量が増えるにつれてバックアップ時間も長くなり、極端なケースではフルバックアップに丸2日、差分バックアップでも終了時間が朝9～10時となり、顧客の業務に支障をきたすこともあった。

5種類もあれば、バックアップの設定作業にも時間がかかる。開発運用本部 ITアウトソーシングサービス部 チーフ 平野哲氏は語る。

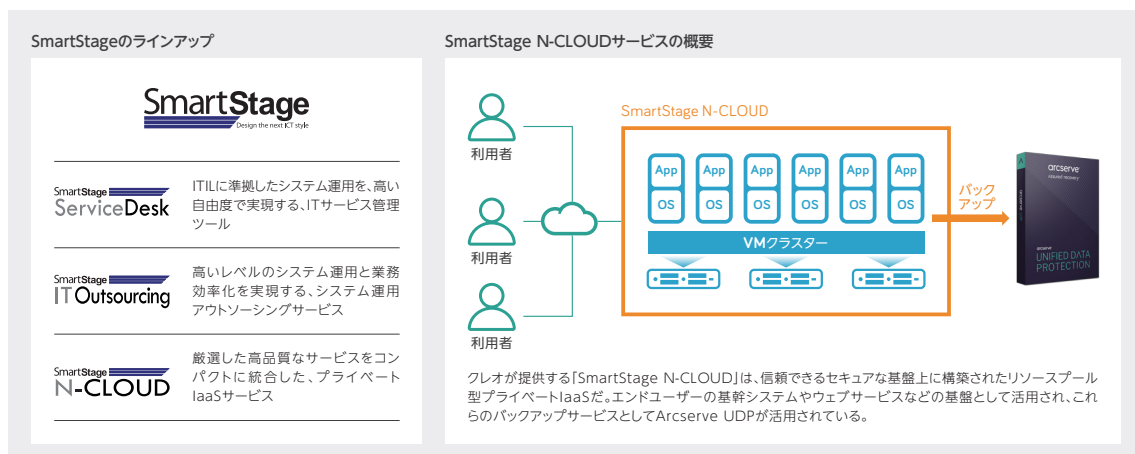
「エンジニアといえどすべてのバックアップソフトウェアに精通するのは困難です。バックアップ要件を実現する設定を行う際に、その製品に詳しいエンジニアに確認するなどの工程が入り、気がつけば半日仕事になってしまったということもありました」

一方、マネジメントの観点で問題視していたのはライセンス管理や保守契約だ。開発運用本部 ITアウトソーシングサービス部 部長 五嶋剛氏は語る。

「ある製品は仮想サーバ単位のライセンス体系、保守契約であったため、100台の仮想サーバがあれば100の契約が必要になります。そこへ、柔軟に作成、削除が行える仮想サーバの特性とバックアップソフトウェアのバージョン制限が相まって資産管理実務は煩雑を極めていました」

こうした問題を解決するため、同社はサービスに適用するバックアップソフトウェアの一本化を決断した。2015年6月のことである。

クレオが提供するITソリューション「SmartStage」





圧縮率、スピード、従量制課金ライセンスでArcserve UDPを選択

製品選定にあたっては、技術者視点、マネジメント視点の双方から進められた。

前者で重視したのは、データの圧縮率である。バックアップデータを小さくして、できるだけ多くの世代を保存させたいと考えていたため、データ圧縮性能が高く、重複排除機能を備えていることに重きを置いた。また、サービスの提供スピードを考え、仮想サーバにエージェントをインストールしなくてすむエージェントレスバックアップもこの機会に実現させたかったという。

マネジメント視点で追求したのは、従量制課金ライセンス体系だ。Arcserveは管理サービスプロバイダ(MSP)向けプログラムとして従量課金ライセンスを提供しており、これならば月ごとに全体の使用量を精算するだけで済み、受発注管理が簡素化できる。

これら両者の要望を総合してたどり着いた答えが、Arcserve UDPだった。五嶋氏は選定理由を次のように語る。

「Arcserve UDPは当社が求めていた圧縮率、スピード、価格を満たし、何より従量制課金ライセンスを提供していました。“使った分だけを支払う”という考え方はコスト的に最も無駄がなく、バージョンアップなどでライセンスの買い直しといったことが発生しない最良のソリューションでした」

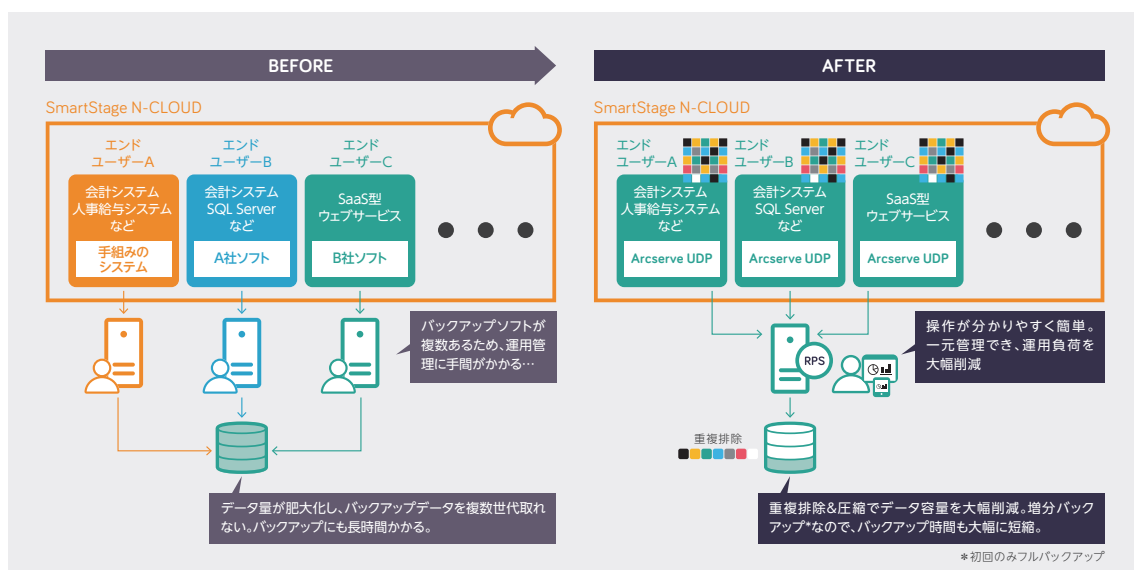


株式会社クレオ 開発運用本部
ITアウトソーシングサービス部 部長
五嶋 剛 氏



株式会社クレオ 開発運用本部
ITアウトソーシングサービス部 チーフ
平野 哲 氏

Arcserve UDPの導入により、データ容量、運用工数を大幅削減





顧客へのサービス提供時間は約1/5に、コストは約1/2以下に

導入を開始したのは2015年9月で、ターゲットをフェーズ分けしながら順次移行し、現在はSaaSおよびIaaSの顧客を含めて約120社、18.3Tバイト、仮想サーバ111台分のバックアップデータを2台の仮想サーバ上のArcserve UDPで取得している。これを機にバックアップの設定手順、リストア手順も標準化した。

Arcserve UDP への一本化で得られた効果は大きい。まずデータ容量は、データ圧縮、重複排除により約60%減となった。また、フルバックアップは初回だけで済み、日々のバックアップ時間は2～3時間に短縮された。

そして、顧客へのサービス提供時間も短縮している。これまで受注から実際にサービスを提供するまで約2週間かかっていたが、従量制課金ライセンスは購入プロセスを省略できるため、サービス受注後2～3日以内に初回バックアップを終えた状態で実運用に入ることができる。半日仕事だった設定は、あらかじめ作成しているプランに保護対象サーバを割り当てただけで済み、今や約10分で完了する。さらに、リストアについては、エンジニアが不在でも運用オペレータだけで実施できるほどに平易な手順になっており、顧客からの頻繁なデータ復旧依頼にも遅滞なく対応できるという。平野氏は語る。

「これらに加えて、迅速かつ信頼性高くバックアップを取得できる体制が確立できたことはエンジニアの安心感という点でうれしい効果でした。『バックアップサービスを付加すればこんなに利点があります』と、お客様に自信を持って勧められます。

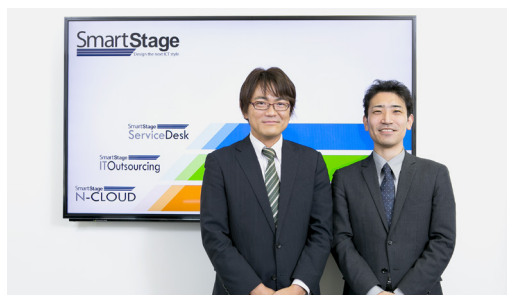
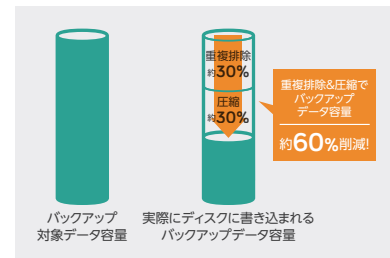
またArcserveのテクニカルサポートは、ただ情報提供するというだけでなく、その後フォローも手厚く、私たちもサービス提供者として学ばせてもらっています」

五嶋氏は平野氏を補足してこう語る。

「Arcserve UDPのバックアップデータ収容率が期待以上に高く、バックアップサーバ1台に50～60台分のデータを収めてもまだ余裕があるという感じです。サービスコストの削減効果でいえば、ライセンスおよび保守料といった目に見える部分だけでも約1/2以下になりました」

今後は、これまで自社開発で提供していた遠隔地にバックアップを行うBCPサービスでもArcserve UDPを活用する予定だ。大きな追加設備投資なしにより多くの顧客を受け入れる体制ができるとこちらも大きな期待を寄せている。

バックアップデータ容量を大幅削減



株式会社クレオ
開発運用本部 ITアウトソーシングサービス部
部長 五嶋剛氏(左)、
同部 チーフ 平野哲氏(右)

arcserve®

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。
製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
Copyright ©2017 Arcserve (USA), LLC. All right reserved.

Arcserve Japan

お問い合わせ

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング
Arcserve ジャパン ダイレクト 0120-410-116 (平日 9:00～17:30)
JapanDirect@arcserve.com

Arcserve.com/jp

検索

WEBサイト: www.arcserve.com/jp
※記載事項は変更になる場合がございます。2017年1月現在